

発表

NHK-FM「名曲のたのしみ」が書籍になります！ 「名曲のたのしみ、吉田秀和」全5巻

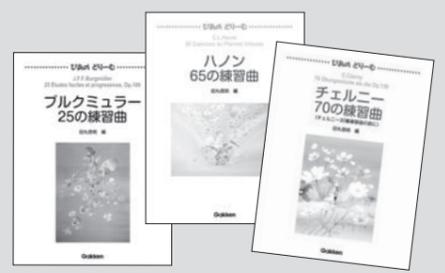
日本の音楽評論の草分けとしてクラシック音楽界に大きな足跡を残した吉田秀和さんの逝去から、早いもので1年が過ぎようとしています。そこで、吉田さん追悼の気持ちを込めて、彼が1971年の放送開始から40年以上にわたってパーソナリティーを務めてきたNHK-FMの長寿番組「名曲のたのしみ」を書籍化することにいたしました。編集を手がけたのは、15年間、この番組のチーフ・プロデューサーとして吉田さんとともに番組を制作してきた西川彰一さん。2000回におよぶ放送音源のなかから、人気のコーナー、「私の試聴室」（毎月最終放送日に設定されていた）を中心にジャンル別にセレクト、全5巻で構成されます。各巻には、放送音源から抜粋した吉田さんの解説を収録したCDが付いており、生前の吉田さんの声をきくこともできます。書籍のタイトルは、リスナーにはおなじみの、吉田さんによる番組タイトルコール「名曲のたのしみ、吉田秀和」からとったものです。

第1巻 ピアニストききくらべ 2013年5月28日発売
本体価格 3,200円(税抜) **CD付** [学研パブリッシング刊]

- 第1巻 ピアニストききくらべ ～内容～
- 第1章 巨匠たちの思い出
ルービンシュタイン、ホロヴィッツ、ギーゼキング、ゼルキン、アラウ、ケンプ 他
 - 第2章 ロシア(ソ連)のピアニスト
ユーヅナ、グリンベルク、ギレリス、リヒテル 他
 - 第3章 ドビュッシーを弾く名手たち
ホルショフスキ、フィルクスナー、ストット 他
 - 第4章 ピアニストききくらべ
ホフマンvsアルゲリッチ、ギレリスvsホロヴィッツvsハスキル 他
 - 第5章 ミケランジェリとグルダ
ミケランジェリ、グルダ
 - 第6章 ゲールドとアルゲリッチ
ゲールド、アルゲリッチ
 - 第7章 10人の代表的名盤
ポリーニ、アッシュケナージ、シフ、ピリス、ツィメルマン、ブレンデル 他
 - 第8章 吉田が語る日本人ピアニスト
原智恵子、園田高弘、野島稔、内田光子
 - 第9章 若い世代への期待
キーシン、小菅優、ユンディ・リ、ムストネン 他
- ★CD収録内容(予定)★
1975年2月(ソナタききくらべ)、1982年10月(ゲールドのゴルトベルク)、2001年4月(ギーゼキング) 他7話～8話

★ ★ ★ ぴあのどりーむ 情報

先月発売されました『ぴあのどりーむ』シリーズの新クラス「中級導入」の3冊。もうお手にとってご覧いただけただしょうか？いわゆる“定番”の『ブルクミュラー』『ハノン』『チェルニー』ですが、今回の新クラスには『ぴあのどりーむ』シリーズのならではの長が！『ブルクミュラー25の練習曲』は巻末に「音階練習」を掲載。各曲に「どの調を練習するか」が記載され、曲ごとに必要なテクニックのみならず調性感を養い、音楽的な表現力を磨くことができます。(か)



Happy Birthday

WEBで詳しく紹介しています♪

- ♪ネリー・メルバ
(オーストラリア/ソプラノ歌手/1861.5.19生)
●「マダム・ストラディヴァリウス」と呼ばれるソプラノ歌手
- ♪ハインツ・ホリガー
(スイス/オーボエ奏者、作曲家/1939.5.21生)
●超絶的な技巧と高い音楽性を持つオーボエ奏者
- ♪リヒャルト・ワーグナー
(ドイツ/作曲家/1813.5.22生)
●新しい音楽劇を創造した歌劇作曲家
- ♪アリシア・デ・ラローチャ
(スペイン/ピアニスト/1923.5.23生)
●デーム・マイラ・ヘスに継ぐ「ピアノの女王」

いつでもどこでも 『ちいさな おんがくかい』から生まれた ピアニスト気分♪ かわいいピアノ・アプリ リリース1周年!!

大好評のピアノ・アプリ「どれみふぁむらのたんけんたい」がリリース1周年を迎えました！このアプリは、かわいい動物たちと遊びながら、ピアノ体験ができるスグレモノ。演奏画面に登場するピアノは、見た目も音も本物に近づけることにこだわりました！おしゃべりな伴奏（演奏は轟千尋先生!!）に合わせて単純な繰り返し演奏をするだけで、ピアニスト気分が味わえます！なんとピアノのレッスン現場でも、導入教材『ちいさな おんがくかい』と併せてご活用いただいているという声も頂戴しております。ぜひ遊んでみてくださいね♪

AppStoreで「どれみふぁむら」と検索してください

iPhone・iPad向けアプリ **ピアノひけたね！** **どれみふぁむらのたんけんたい**
丸子あかね 監修/轟千尋 作曲/尾田晴幸 絵
AppStoreにて配信中。
無料2曲入り、追加パック250円(3曲入り)。※全3パック

2曲無料で遊べるよ

大人の科学×音楽最前線

大人の科学マガジン最新号のふろくは「パタパタ電波時計」。掛け時計や置き時計から腕時計まで、今では一家に一台、どこかに電波時計がある時代ですが、そのしくみは案外知られていません。とにかく「正確な時計」という認識の方がほとんどでしょう。

今回のふろくは電波時計のしくみを体感できる時計です。電波時計は、標準電波と呼ばれる電波の日本標準時のデータを受けて、誤差を自動修正します。ふろくでは、内蔵されたクォーツ時計が標準電波のデータにしたがって、1日に1回補正されるので、「正確な」時を刻みます。また、その機構をよりわかりやすくするために、懐かしいパタパタ表示を採用しました。文字板を60枚一気に早送りする機能もあり、連続絵を描けばパラパラマンガも楽しめます。本誌では、鉄拳さんもパラパラマンガに挑戦しています。見た目懐かしいのに、新しい時計です。ぜひお楽しみください。

編集部チョイスおすすめの1曲

そよかぜ (田丸信明)
レベル:☆☆☆☆

春のそよかぜが気持ちの良い季節ですね。若葉のにおい、お花のにおい…風につれて、いろいろな春がやってきます。

掲載楽譜 →ぴあのどりーむ2

♪ ♪ **5月12日は** フォーレのお誕生日!! ♪ ♪ (1845~1924)

風薫る5月です。暦の上ではすでに初夏、1年中で最も美しく、そして過ごしやすい季節ですね。暮春の物憂さもさわやかな風が吹きさらつてしまうかのようです。毎日に暮暮の訪れも晩くなり、夜風がなんとも心地よく感じられる頃おいです。こんな季節の夕べのための音楽と思われてならないのが夜想曲。英語でノクターン、フランス語でノクチュルヌですね。アイルランドの作曲家ジョン・フィールド(1782~1837)が創始したと言われ、その影響のもとフレデリック・ショパン(1810~1849)が数多くの曲を残しました。あたかも夜想曲はショパンのために創られたピアノ曲の形式のような印象があるほど、この曲種はショパンとの結びつきが強固です。みなさんがよくご存じのように夜想曲には特に形式的な約束事はありません。おおむね3部形式で、分散和音の伴奏に夢見るような優美な旋律で構成されています。19世紀にヨーロッパの主役となった市民階級の詩的感興が発想の源泉なのでしょう。しかし、この夜想曲、ショパンだけに代表させていいものではありません。のちにショパンの影響から出発しながらも、独自の夜想曲の世界を創りあげたフランスを代表する作曲家がいます。ガブリエル・フォーレです。

1845年の5月に南仏の小さな町に生まれたフォーレは、1924年にパリで80歳の生涯を閉じるまでに13曲の夜想曲を作曲しました。それは生涯にわたっており、第5番までが初期、第6番から第8番が中期、第9番以降が後期と区別されます。曲想は年齢とともに変化しています。最後の第13番が創られたのは1921年、フォーレの最後のピアノ曲となりました。時に77歳という高齢です。もともとフォーレの音楽は、感傷に流されたり放恣な感覚にふけったりすることから遠く、繊細で知的に抑制された禁欲的な旋律と響きとが特色です。独特な和声の絶妙な味わいが尽きせぬ魅力となっています。それが、さらに厳しく幽玄とでも表現したいような夢想の世界をくりひろげます。老齢のフォーレが書いた夜想曲、その味わいはそれなりに年齢を重ねてはじめてわかる音楽かもしれないとも思うのです。(え)

今月の **あかね先生** ♪ ♪

導入指導のカギはどれだけたくさんの“引き出し”を持っているかー。

『AERA with Kids』に続き、先日、あかね先生にまたもや取材依頼が！幼いお子さんを持つ保護者の方向けのWebサイト「みどりのなかま」から、“家庭でできる音楽への興味を育てる遊び”についてです。そこで、あかねピアノ教室で実践している「リズム」や「おんぷ」を覚えるための遊びの中から、家庭で取り組みやすいものをご紹介します。現在、動画で公開されています。モデルのお子さんは3才の女の子。お母さん役はあかねピアノ教室の先生です。初対面の感じが、体験レッスンの参考にピッタリ…かも!!

「幼いお子さんを指導するときは、どれだけたくさんの“引き出し”を持っているかがカギ。“引き出し”の参考にできれば嬉しいです。」とあかね先生。ぜひご覧になってみてください♪ (いも) **みどりのなかま** <http://www.889100.com/midori/>

今月のセミナースケジュール

5/14(火):[愛知県/碧南] 名曲堂楽器 碧南ミュージックセンター 『子どもが飽きないリズムのレッスン-導入編-』	5/22(水):[長野県/長野] ホクト文化ホール 小ホール 『子どもが飽きないリズムのレッスン-導入編-』
5/15(水):[愛知県/犬山] 真和楽器 本店 『楽しくおぼえる「おんぷ」のレッスン』	5/29(水):[神奈川県/藤沢] 有隣堂 藤沢ミュージックショップ 『子どもが飽きないリズムのレッスン-発展編-』

つむりの **練習手帳**

先週、桜が散りはじめたらつむりもコンクール、予選で散っちゃった。だからすっきりしなかったのと、先生に「お休みしていいよ」ってしてもらったので、おととも昨日もゼンゼンピアノを練習しません。今日もさっさと遊びに行っちゃいました。これじゃあ、きつと前よりヘタになってるんじゃないかなあ。
(トホホお兄)

つむり現在の楽譜
☆こどものハノン ④
☆ブレ・インヴェンション

今月号の回答は **編集部** ??? **レッスンQ&A** ???

Q. ふたりの子どもが同じ教室に通っているのですが、小1の子どもが『ぴあのどりーむ テキスト③』、年長の子どもが『ぴあのどりーむ レパートリー③』を使っています。この2冊はどう違うのですか？

A. 『ぴあのどりーむ』シリーズの『テキスト』と『レパートリー』には、下記のような特長があります。(①～⑥全巻共通です。)

- テキスト
曲を演奏しつつ学習要素(音の高さ、読み方、長さ、鍵盤での位置、演奏法…etc.)を学び上達させるための『曲集テキスト=教則本』。教科書のような役割。
- レパートリー
曲がたくさん収録され、レパートリーを増やしていくための『曲集』。どちらかといえばテキストで学んだ事柄を定着させる応用編の役割があるので、学習要素は最低限の掲載。

これらの特長は、編集方針でもあるのですが、特に年齢や習熟度によって厳密に分けているものではありませんし、使い方を決めるものでもありません。たくさんの先生方が、生徒さんそれぞれの個性——つまり習い始めた時期や性格など——に合わせて、ご自分なりの方法で活用くださっています。ただ、『レパートリー』は学習要素に割いている部分が少ないのでとつきやすい、ということで、幼い生徒さんには『レパートリー』を渡される先生もいらっしゃるようです。生徒さんそれぞれの個性に合わせて、使う楽譜を選んでいただけるのは素晴らしいことです。安心してレッスンをお受けいただければと思います。